



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月12日

上場会社名 ポパール興業株式会社  
 コード番号 4247 URL <https://www.poval.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 孝敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 黒田 英文  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

TEL 052-419-1827

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	1,776	2.9	223	12.5	245	14.1	162	5.6
2021年3月期第2四半期	1,726	6.7	198	26.9	214	25.2	154	24.7

(注)包括利益 2022年3月期第2四半期 185百万円 (0.1%) 2021年3月期第2四半期 185百万円 (15.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	61.75	
2021年3月期第2四半期	58.48	

(注)2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	6,412	5,304	82.4	2,005.59
2021年3月期	6,227	5,158	82.5	1,951.11

(参考)自己資本 2022年3月期第2四半期 5,283百万円 2021年3月期 5,140百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		30.00		15.00	
2022年3月期		16.00			
2022年3月期(予想)				16.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、2020年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割いたしました。2021年3月期の第2四半期末の配当につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2021年3月期の年間の配当につきましては、株式分割を行ったことにより単純計算ができないため、表示しておりません。なお、株式分割を考慮しない場合の期末配当は30円であります。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,399	4.5	382	18.6	385	10.2	258	21.9	97.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	2,634,800 株	2021年3月期	2,634,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2022年3月期2Q	226 株	2021年3月期	226 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	2,634,574 株	2021年3月期2Q	2,634,656 株
------------	-------------	------------	-------------

(注)2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依然として厳しい状況にあります。直近では、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、製造業では半導体部品を始めとする一部の製造部品の不足により、生産活動が停滞するといった悪影響が顕在化しており、先行きが不透明なまま推移しております。

このような経済状況のもとで、当社グループは「接着・樹脂加工を基盤とし、拠点相互のネットワークを最大限活かした成長事業、新規事業とグローバル展開」を基本方針として、「ソリューションビジネスの展開」「グローバル展開の推進」「成長事業・新規事業推進」「生産の合理化」「共感力の浸透」を目標に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間は、ディスプレイガラス向け研磨部材の販売が堅調に推移したほか、自動車・鉄鋼業界を中心にベルト関連製品の受注が底堅く推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,776百万円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は223百万円（前年同四半期比12.5%増）、経常利益は245百万円（前年同四半期比14.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は162百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 総合接着・樹脂加工

総合接着・樹脂加工につきましては、ディスプレイガラス向け研磨部材の販売が堅調に推移したほか、自動車・鉄鋼業界を中心にベルト関連製品の受注が底堅く推移しました。以上の結果、売上高は1,516百万円（前年同四半期比8.6%増）となりました。

#### 特殊設計機械

特殊設計機械につきましては、新型コロナウイルス感染症による設備投資の先送りや凍結の影響がありました。以上の結果、売上高259百万円（前年同四半期比21.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて184百万円増加し、6,412百万円となりました。このうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べて153百万円増加し、3,022百万円となりました。これは主に、現金及び預金が76百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が122百万円増加したこと（前連結会計年度末の受取手形及び売掛金との比較）によるものであります。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べて31百万円増加し、3,390百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が44百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて38百万円増加し、1,108百万円となりました。このうち、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べて40百万円増加し、715百万円となりました。これは主に、未払法人税等が15百万円、賞与引当金が10百万円増加したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1百万円減少し、392百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が7百万円増加したものの、役員退職慰労引当金が10百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて146百万円増加し、5,304百万円となりました。これは主に、利益剰余金が123百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて76百万円増加し、1,228百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ19百万円増加し、195百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が244百万円計上されたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、前年同四半期と比べ343百万円減少し、74百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が72百万円計上されたことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ0百万円減少し、39百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が39百万円計上されたことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年9月16日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,151,440	1,228,364
受取手形及び売掛金	710,101	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	832,940
商品及び製品	125,866	97,099
仕掛品	502,284	487,337
原材料及び貯蔵品	322,112	342,215
その他	57,057	34,566
貸倒引当金	△430	△480
流動資産合計	2,868,431	3,022,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,777,085	1,793,658
減価償却累計額	△1,129,151	△1,157,034
建物及び構築物 (純額)	647,933	636,624
機械装置及び運搬具	1,360,946	1,353,584
減価償却累計額	△1,212,020	△1,215,044
機械装置及び運搬具 (純額)	148,925	138,540
土地	1,599,007	1,597,291
建設仮勘定	7,886	52,201
その他	225,494	232,683
減価償却累計額	△200,177	△204,426
その他 (純額)	25,316	28,257
有形固定資産合計	2,429,069	2,452,915
無形固定資産		
のれん	19,181	11,497
その他	5,088	5,680
無形固定資産合計	24,270	17,177
投資その他の資産		
投資有価証券	793,948	814,815
その他	112,706	106,249
貸倒引当金	△637	△637
投資その他の資産合計	906,016	920,426
固定資産合計	3,359,357	3,390,519
資産合計	6,227,788	6,412,563

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	342,063	334,751
短期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	64,777	80,324
賞与引当金	74,737	84,740
その他	173,909	196,004
流動負債合計	675,488	715,821
固定負債		
役員退職慰労引当金	234,104	223,624
退職給付に係る負債	151,727	158,801
その他	8,262	9,896
固定負債合計	394,094	392,322
負債合計	1,069,582	1,108,143
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	179,605	179,605
資本剰余金	275,336	275,336
利益剰余金	4,451,408	4,574,582
自己株式	△189	△189
株主資本合計	4,906,161	5,029,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194,195	208,133
為替換算調整勘定	39,995	46,402
その他の包括利益累計額合計	234,190	254,535
非支配株主持分	17,853	20,548
純資産合計	5,158,205	5,304,420
負債純資産合計	6,227,788	6,412,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	1,726,488	1,776,814
売上原価	1,078,313	1,092,530
売上総利益	648,174	684,283
販売費及び一般管理費	449,519	460,836
営業利益	198,655	223,447
営業外収益		
受取利息	131	130
受取配当金	9,786	12,977
受取賃貸料	1,612	4,845
為替差益	1,381	5,377
助成金収入	2,000	—
その他	1,334	1,444
営業外収益合計	16,246	24,775
営業外費用		
支払利息	49	32
売上割引	68	—
賃貸収入原価	—	3,139
その他	—	0
営業外費用合計	118	3,171
経常利益	214,783	245,050
特別利益		
固定資産売却益	395	21
特別利益合計	395	21
特別損失		
固定資産除売却損	140	467
特別損失合計	140	467
税金等調整前四半期純利益	215,038	244,605
法人税等	59,893	80,625
四半期純利益	155,145	163,979
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,061	1,287
親会社株主に帰属する四半期純利益	154,083	162,692



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	155,145	163,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,353	13,937
為替換算調整勘定	△21,011	7,815
その他の包括利益合計	30,342	21,753
四半期包括利益	185,487	185,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,877	183,037
非支配株主に係る四半期包括利益	610	2,695

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	215,038	244,605
減価償却費	53,320	53,925
のれん償却額	7,684	7,684
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,589	59
賞与引当金の増減額 (△は減少)	650	9,963
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,157	7,527
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,420	△10,298
受取利息及び受取配当金	△9,918	△13,107
支払利息	49	32
固定資産売却損益 (△は益)	△395	△21
有形固定資産除却損	140	467
助成金収入	△2,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,698	△111,769
棚卸資産の増減額 (△は増加)	58,823	30,445
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,284	△8,507
その他	△35,765	14,949
小計	280,635	225,955
利息及び配当金の受取額	8,781	12,038
利息の支払額	△49	△32
法人税等の支払額	△115,044	△42,137
助成金の受取額	2,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	176,322	195,824
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△326,188	△72,738
有形固定資産の除却による支出	—	△791
有形固定資産の売却による収入	395	21
無形固定資産の取得による支出	△109	△1,276
投資有価証券の取得による支出	△93,860	—
投資有価証券の払戻しによる収入	1,207	76
定期預金の払戻しによる収入	302	—
貸付けによる支出	△561	△194
貸付金の回収による収入	1,067	755
差入保証金の差入による支出	△74	△145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417,822	△74,291
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△98	—
配当金の支払額	△39,529	△39,513
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,628	△39,513
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,398	△5,093
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△288,526	76,924
現金及び現金同等物の期首残高	1,363,330	1,151,440
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,074,803	1,228,364

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は販売費及び一般管理費として計上しておりました販売手数料等の一部及び営業外費用に計上しておりました売上割引については、売上高から減額しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高8,892千円、販売費及び一般管理費8,862千円、営業外費用30千円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,396,916	329,572	1,726,488	—	1,726,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,396,916	329,572	1,726,488	—	1,726,488
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	187,323	40,166	227,489	△28,834	198,655

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

総合接着・樹脂加工事業において、当第2四半期連結会計期間に土地及び、建物を取得したことにより、セグメント資産が276,057千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	227,489
セグメント間取引消去	6,976
全社費用(注)	△35,811
四半期連結損益計算書の営業利益	198,655

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,516,902	259,911	1,776,814	—	1,776,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	6,750	6,805	△6,805	—
計	1,516,958	266,661	1,783,619	△6,805	1,776,814
セグメント利益又はセ グメント損失 (△)	254,623	△6,391	248,232	△24,785	223,447

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	248,232
セグメント間取引消去	9,780
全社費用（注）	△34,565
四半期連結損益計算書の営業利益	223,447

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。